



With

第 21 号(2025 年 NO.1)

令和 7 年 7 月 25 日(金)発行

令和 7 年度コミュニティ・スクールの取組がスタートしました

6 月 24 日(火)に第 1 回学校運営協議会が開催され、令和 7 年度北海道七飯養護学校・七飯養護学校おしま学園分校のコミュニティ・スクールの取組が始まりました。本校のコミュニティ・スクールの目的は次の 2 点です。

- 1 学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成させることにより、学校と地域が相互に連携・協働していくための基盤を育む。
- 2 地域との関係を構築し、地域の人材や資源を生かした学校づくりを行うことにより、本校の教育目標の達成に向けた教育活動の質の向上を図る。

今年で 4 年目となります。これまでの取組を大切にしつつコミュニティ・スクールの目的を達成できるよう、日々の教育活動に取り組んでまいります。

コミュニティ・スクールの活動は、昨年に引き続きコミュニティ・スクール通信「With」で広くお伝えします。

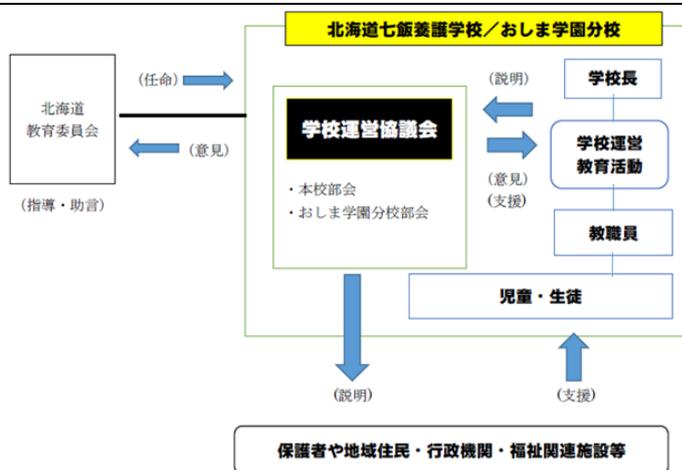
さて、令和 7 年度の学校運営協議会の組織は右図のとおりです。学校運営協議会委員は、昨年度から 2 名が新しい委員となりました。

委員の皆様には、七飯養護学校（以下、本校）部会若しくは七飯養護学校おしま学園分校（以下、分校）部会

に所属し、それぞれの学校の教育活動について、様々な立場から熟議し、地域との連携を深めながら充実した教育活動が実施できることを目指しています。今年度の委員の皆様は以下のとおりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<委員の皆様（敬称省略、部会別 50 音順）>

稲垣 明 美（本校部会）	七飯町商工会理事
後木 明 生（本校部会）	七飯町校長会会長
鎌田 優 子（本校部会）	BPO法人みんなのサポーターわっとな管理責任者
田中 慎 一（本校部会）	日本障害者・高齢者生活支援機構理事長
氷見 陽 市（本校部会）	七飯町社会福祉協議会法人運営課課長
広沢 祐 桂（本校部会）	北海道七飯養護学校PTA（CS担当）
石岡 正 徳（分校部会）	石別ふれあう会会長
加藤 孝 治（分校部会）	北海道七飯養護学校おしま学園分校PTA会長
菅原 力（分校部会）	石別ふれあう会副会長
中野 伊知郎（分校部会）	社会福祉法人侑愛会おしま学園園長
山崎 久 記（分校部会）	北斗市教育委員会学校教育課長
脇 康 幸（分校部会）	北斗市経済部観光課長
山内 功	北海道七飯養護学校校長



第1回学校運営協議会の概要

今年度の会長として七飯町商工会理事 稲垣 明美 様が、副会長には石別ふれあう会会長 石岡 正徳 様がそれぞれ選出されました。次に、令和7年度グランドデザインや学校運営協議会に関する説明後、それぞれの部会に分かれて学校紹介と熟議を行いました。

【本校部会の熟議】

熟議テーマ：学校と地域がチームになって、子どもたちにできること

学校紹介では、コミュニティー・スクールの四つ柱の確認し、昨年度実施した活動について、振り返りました。

熟議では、本校職員に実施したアンケートをもとに、継続していく取組や地域への学習活動の紹介、地域との関わりについて、話し合われました。

- ①継続していく取組：好評だった絵本の読み聞かせや七養☆アート展、ユニバーサルスポーツ講習を今後も地域と連携していくこと。
- ②学習活動の紹介：学校行事や作品展示を通して、見学者から感想をいただき、生徒の自己肯定感を高めていくこと。制作過程を動画やチラシ配布をすることで本校の様子を知ってもらうこと。
- ③地域との関わり：製品や育てた野菜の地域展示や無償提供を通し、「ありがとう」という直接的な感謝の言葉の交流で、社会貢献の喜びを実感させること。町内清掃等のボランティア活動で地域の方と直接的な関わりをもっていくこと。学習活動の見守りなどの依頼は、募集内容の明確化を図ること。プロによる芸術鑑賞などの体験機会を提供し、子どもたちの感性を育むこと。など、活発な意見交流が行われました。



【分校部会の熟議】

熟議テーマ：令和6年度の取組を受けて、より充実したコミュニティー・スクールの取組にするためには、どのようなことが必要か。

自己紹介では、おしま学園分校やCSに対する思いをお話いただきました。その後、CSの三つの柱や昨年度までのCSで実現した「絵本の読み聞かせ」「道南いさりび鉄道作品展」、学校と地域の協働活動「Withプロジェクト」について共有しました。

熟議では、高等部で行っているウォークラリーについて、石別地区観光推進事業実行委員会で開催予定の「令和7年度石別探検隊」(ウォークラリー)の紹介をしていただき、活用してはどうかといった意見が出ました。石別地区にある駅、商店、観光スポットをまわってキーワードを集めてお宝(景品)の応募をする活動で、2カ所から応募可能ということで、無理のないところから参加できるのではないかと御意見をいただいております。

また、5月に行われた石別ふれあい大運動会について、今年度は「だるまりレー」など、場を共有するだけでなく、地域の小中学生のみなさんと一緒に競技をする活動が実現できたことについて評価をいただくとともに、次年度へのスムーズな引き継ぎができるように、今年度内にも実行委員会を開催していただく予定であることも確認することができました。各委員からは、おしま学園分校を地域の大切な仲間としてあたたかいお気持ちで受け入れてくださっている雰囲気の中、活発な意見交流が行われました。



各部会の熟議では、様々な意見を出していただき、大変有意義な熟議となりました。今回の熟議で話されたことを基に、今年度のコミュニティー・スクールの取組を充実させていきます。学校運営協議会委員の皆様、お忙しい中、御参集いただきありがとうございます。ありがとうございました。

次回開催予定は、 本校部会：9月26日(金)、分校部会：9月25日(木) です。

本校・分校の取組

【本校の取組】

今年度、小学部運動会、中学部高等部体育大会では、保護者に加え、本校の子ども達が利用している放課後等デイサービスの皆さんの参観を呼び掛けました。駐車場の関係で、放課後等デイサービスの皆様には、公共の交通機関等での来校の御協力をいただきました。参観された関係機関の皆様からも、学校の様子を見ることができて良かったと感想を頂きました。たくさんの声援が、子ども達の励みにつながっています。



7月中旬、道南の農家さんから、「こだわりのトマトを味わってほしい」と無農薬のミニトマトをいただきました。教室でそのまま食べたり、寄宿舎の夕食でいただいたりしました。「あま〜い。」「めっちゃ、おいしかった。」と笑顔いっぱい食べる子ども達。本校では、地域住民と関わり、感謝を伝える場面を大切にしており、「おいしかった」や「ありがとう」の気持ちを手紙や絵で伝えるなど、素敵な機会となりました。



今後の活動として、絵本の読み聞かせは、9月、12月実施。七養☆アート展は、学習発表会時期と合わせ、11月11日（火）～11月27日（木）に展示を予定しています。

今回熟議でいただいた意見を踏まえ、学校と地域がチームになって取り組めることについて、校内で検討中です。地域住民の皆様の温かい御理解と御協力をお願いいたします。

【おしま学園分校の取組】

5月24日（土）の四者合同石別ふれあい大運動会に、小中学部の児童生徒が参加しました。地域の皆様が温かく迎え入れてくださり、一昨年度から参加しています。

今年度も、より地域の皆様との交流を広げる参加の仕方について、石別小学校や石別中学校、地域の皆様と協議を重ね、当日を迎えることができました。紅白玉入れでは、分校独自のルールや用具を使用することの御配慮をいただき、場を共有して一緒に競技することができました。

また、今年度は「だるまりレー」にも参加することができました。石別小学校や石別中学校のみなさんとペアになり、台座に乗せただるまを落とさないように協力してリレーをしていく競技を行うことができました。他校の児童生徒と一緒に力を合わせて取り組みました。今回、徒競走のあとには、全員がメダルをいただき、とてもうれしそうでした。

運動会当日は、保護者の皆様を始め、来場された多くの皆様の盛大な拍手や応援の中で「いか踊り」も見ていただき、地域の皆様と楽しく交流することができたと同時に、学習の成果を披露することのできる貴重な場となりました。児童生徒が安心して、のびのびと参加することができたことに、多くの方々の御理解と御尽力を賜りましたことと深く感謝いたします。

